

西知多道路<事業箇所図>



西知多道路の整備促進に関する要望書



2024年8月

西知多道路推進協議会

<西知多道路推進協議会>

愛知県、名古屋市、東海市、知多市、常滑市、名古屋港管理組合
名古屋商工会議所、一般社団法人中部経済連合会、中部国際空港株式会社

西知多道路の整備促進について

西知多道路は、東海市の東海 JCT から知多市を經由して、常滑市の常滑 JCT（仮称）に至る延長約 18.5km の高規格道路であります。

本道路が計画されている知多地区は、商業施設・国際展示場などの周辺開発が進んでおり、2026 年に開催されるアジア競技大会において、ゲートウェイとなる中部圏唯一の国際拠点空港である中部国際空港を擁しています。また、その北に位置する臨海部は、取扱貨物量、外国貿易の黒字額が日本一の国際拠点港湾である名古屋港の一角として、鉄鋼の生産、石油や天然ガスなどエネルギーの供給において重要な役割を果たし、製造品出荷額等が 45 年連続全国第 1 位である本県のモノづくり産業を支えています。このように知多地区は、世界につながる玄関口としての役割を担うなど**大きなポテンシャルを有する大変重要な地区**であります。

現在、中部国際空港では完全 24 時間運用の実現や現滑走路の大規模補修などの喫緊の課題に対応するため、2027 年度供用開始に向けて第 1 段階である代替滑走路の整備に関する環境影響評価の手続き等が着実に進められているところであります。また、リニア中央新幹線の開業により、名古屋・東京間が 40 分になるなど、三大都市圏の時間距離の大幅な短縮により、世界に類を見ない 1 つの巨大な大都市圏が形成されようとしております。

西知多道路は中部国際空港と新東名高速道路（伊勢湾岸自動車道）を直結するとともに、名古屋高速道路を經由してリニア中央新幹線名古屋駅を結ぶ路線であり、本県の**モノづくりを支えるとともに、さらに知多半島道路とダブルネットワークを形成することにより、国土強靱化にも大きく寄与する大変重要な道路**であります。

現在、国施行の東海 JCT 部では、ランプ橋上下部工事を進めていただき、また、長浦から日長間では、今年度から橋梁下部工事に着手されるなど、着実な事業進捗に感謝しております。県施行の常滑工区では 9 割、知多南工区では 8 割を超える用地を取得しており、**道路築造工事や橋梁上下部工事を推進**しております。また、大田 IC（仮称）については、**橋梁下部工事を進めるなど、引き続き事業を推進**してまいります。

沿線においては、**西知多道路の整備にあわせた開発事業が進展**しており、東海市では大田 IC（仮称）の東側に大型物流施設等を誘致するなど交通利便性を活かした新たなまちづくりが、知多市では朝倉 IC 周辺のにぎわい・交流拠点づくりが、常滑

市では常滑 JCT（仮称）付近に市民交流拠点づくりが進められています。これらのまちづくりとの整備効果を最大限発揮させる**西知多道路の全線整備が必要**です。

本県が引き続き強い日本経済の発展に貢献し、一連のストック効果を早期に発現するため、**新たな物流・交流軸となり生産性革命を引き起こす西知多道路の一日も早い開通**に向け、本県としても有料道路事業や国土強靱化の予算を活用するなど**整備の加速に向けた取組みを進めて**おります。

つきましては、次の事項について、特別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 国の権限代行区間の整備を着実に進めるとともに、**県事業中区間の整備推進が図られるよう、十分な予算措置を講じる**こと。
- 2 荒尾 IC から長浦 IC 間の調査中区間の**早期の事業化**に向け、関係機関の相互協力のもと**着実に調査の進捗を図る**こと。
- 3 本道路を含めた災害に強い道路ネットワークを構築するため、防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策の最終年度となる令和 7 年度においても必要な**予算・財源を確保**すること。また、令和 6 年能登半島地震などを踏まえ、既設道路構造物の機能強化などを推進するため、**必要な事業規模と期間を盛り込んだ国土強靱化実施中期計画の策定に早期に着手し、令和 6 年度内に完了させ、当初予算を含め、速やかに必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保**すること。
- 4 山積する道路整備の課題に対応していくため、**新たな財源の創設等により、令和 7 年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、所要額を満額確保**すること。

2024 年 8 月 6 日

西知多道路推進協議会

会 長	愛知県知事	大村 秀章
副会長	名古屋商工会議所会頭	嶋尾 正
副会長	（一社）中部経済連合会会長	水野 明久